

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	◎
			地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	○
			地域コミュニティ・集落再生	○	環境	
			地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		やの くにこ				
氏名		矢野 邦子				
所属	名称	FoodDesignアトリエやの				
	役職	代表				
連絡	住所	(公開)	〒 790-0005 愛媛県松山市花園町2-3			(職場)
		(公開)	E-Mail atelieryano[アットマーク]gmail.com			
	連絡先	(公開)	TEL 089-943-7777	FAX 089-941-3411		
		連絡方法				
略歴		東京都出身。証券会社退職後、愛媛県松山市在住。夫が太ったことから野菜料理に目覚め、2年かかって15キロの減量に成功。野菜料理家として野菜不足解消の野菜料理を広めていると、農山漁村の女性部の方々から、料理教室の依頼が増え、商品開発の手伝いをするようになる。未利用部位の商品開発として、真鯛の骨をペースト状にしたものを6次産業化したいと依頼を受ける。家庭の味のベジヤメルソース(ホワイトソース)を作ると、FOODEXで金賞を受賞する。都会の共働き家庭をターゲットに、レンジで加熱してすぐに食べられる真鯛料理「おうちdeカフェご飯」「お魚レストラン」などを開発。また、イリコにカラフルな野菜の粉をつけて健康的なおやつとして「べじりこ」を提案。中山間地域のトマト栽培をしている地域には、トマト専門の農家レストランにトマトたっぷりのトマトキーマカレー等をレシピ開発。地元の女性部の意欲的な活動により、彼女たちの取り組みとキーマカレーがブラジルで紹介された。愛媛県委嘱6次産業化プランナー・ビジネスプランナー・農業評価委員。				
著作・論文等		水産養殖産地における自発的販売組織の展開と産地再編 愛媛県宇和島市蔦淵地区の調査結果から(農林経済学会 農林問題研究 掲載) 中山間地域の人的資源を活用した地域力経営の考察 愛媛県西予市遊子川の取り組み事例から(地域デザイン学会 地域デザイン 掲載)他				
取組概要		農山漁村の課題解決のための6次産業化について助言・商品開発等を行っています。 例1 真鯛の一夜干しを作るときに出る真鯛の骨の商品化。真鯛の骨をペースト状にしてベジヤメルソースを考案。FOODEXで金賞受賞。 例2 毎年10トンもの規格外トマトの破棄に悩んだ地域でトマトの6次産業化。農家レストランのトマトキーマカレーを開発。山村の農家レストランに毎月3千人もの人が来るようになる。他 中央商店街の賑わい創出事業は、歩道が拡張整備され憩いの場となるよう、イベントを企画運営・助言・指導します。 例1 通りで本物の結婚式 商店街を幸せなイメージへブランディング。商店街にあるブライダル専門学校とコラボ企画。地元の商店街の花屋さんが通りを飾る。 例2 俳人正岡子規の生誕の地を活用し吟行や正岡子規が書いた仰臥漫録から正岡子規が食べたであろうノボサンカレーを作り参加者へふるまう。他 その地域に合った課題解決に向けて、多くの話し合いの中から地域の課題解決と、何を継続的にしていきたいのかを見極め、地域の皆さんとともに作り上げていきましょう。講演依頼も引き受けますので、まちづくりのきっかけに活用してください。				
メッセージ		農山漁村の6次産業化や商品開発、中心商店街の活性化やまちづくりなど、何かきっかけが欲しいと思っているだけでも相談に乗ります。私が手掛けた事例の講演なども引き受けますので、お気軽にお声をおかけください。1歩が踏み出せない地域や商店街の会長さんの相談にも乗ります。6次産業化プランナーとして各地でまちづくりに携わっただけでなく、自分が住む場所に置いて、まちづくりの当事者となりその葛藤も経験しました。まちづくりや6次産業化は雑談からも始まります。話しているうちに色んなヒントが湧いてきます。自分の地域のビジョンを是非、考える1歩として活用いただければ嬉しいです。一緒にまちづくりを楽しみながら始めてみましょう。				
関連ホームページ		-		活動エリア	全国	

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。